

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2022 年 4-6 月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 261 社から回答があった。景況判断 DI は▲15（前期調査と変わらず）となった。来期の見通しは▲24 となり、9 ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点については、「修理、修繕費等の増加」、「従業員の不足」、「需要の停滞」の回答割合が特に高かった。「その他」の記述回答では、前期調査に引き続き、燃料費の高騰を懸念する声が多く寄せられた。

以下、その他業況感 DI の内訳

2022 年 1-3 月期に対して、

- ・売上高 DI は▲4 で、4 ポイント改善
- ・処理量 DI は▲13 で、2 ポイント改善
- ・営業利益 DI は▲16 で、5 ポイント悪化
- ・資金繰り DI は 0 で、2 ポイント悪化
- ・借入難易度 DI は 10 で、2 ポイント悪化
- ・設備投資 DI は 0 で、3 ポイント悪化
- ・従業員数 DI は 2 で、2 ポイント改善
- ・契約単価 DI は、収集運搬が 11 で、5 ポイント改善
処分が 9 で、4 ポイント改善

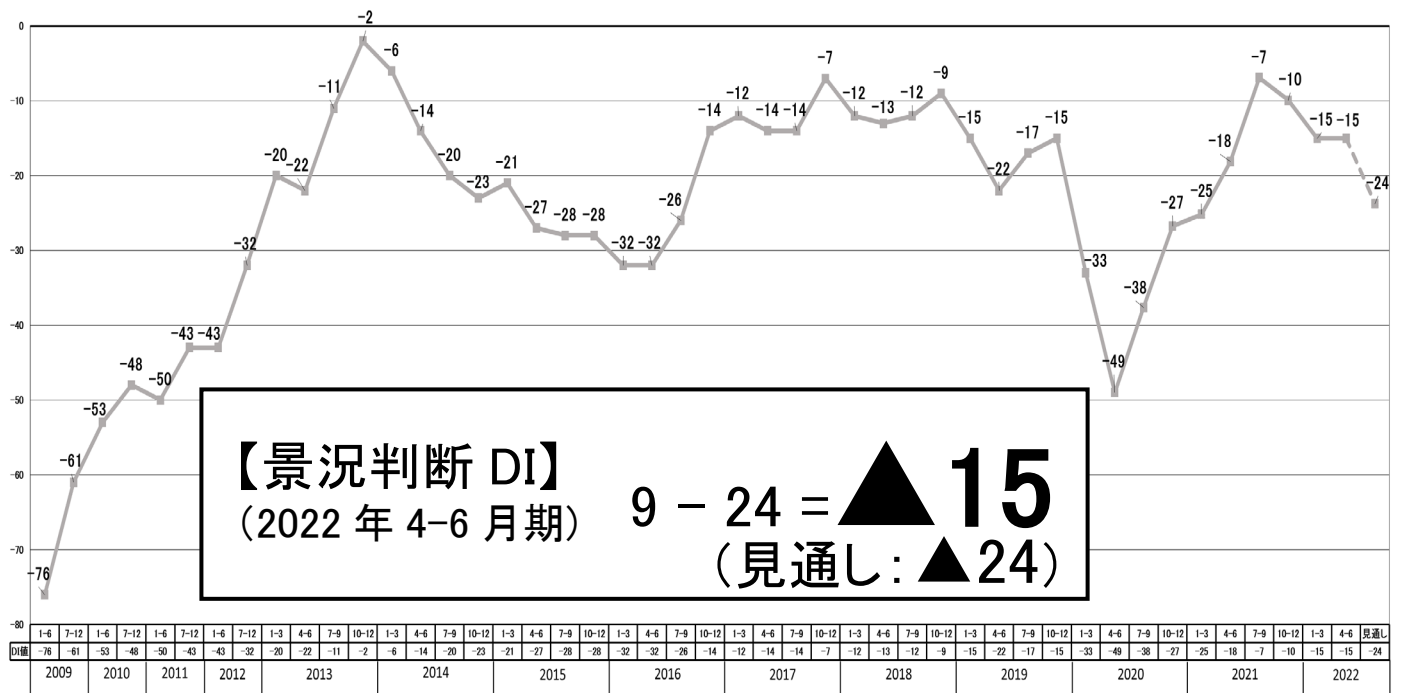
- 売上高の動向については、前年同期比（3 ヶ月平均）で 0.1%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比（3 ヶ月平均）で 0.9%増となった。
- 経常利益率については、平均値が 6.9%で前期調査（9.6%）より悪化した。

※DI とはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

〔調査の要領〕

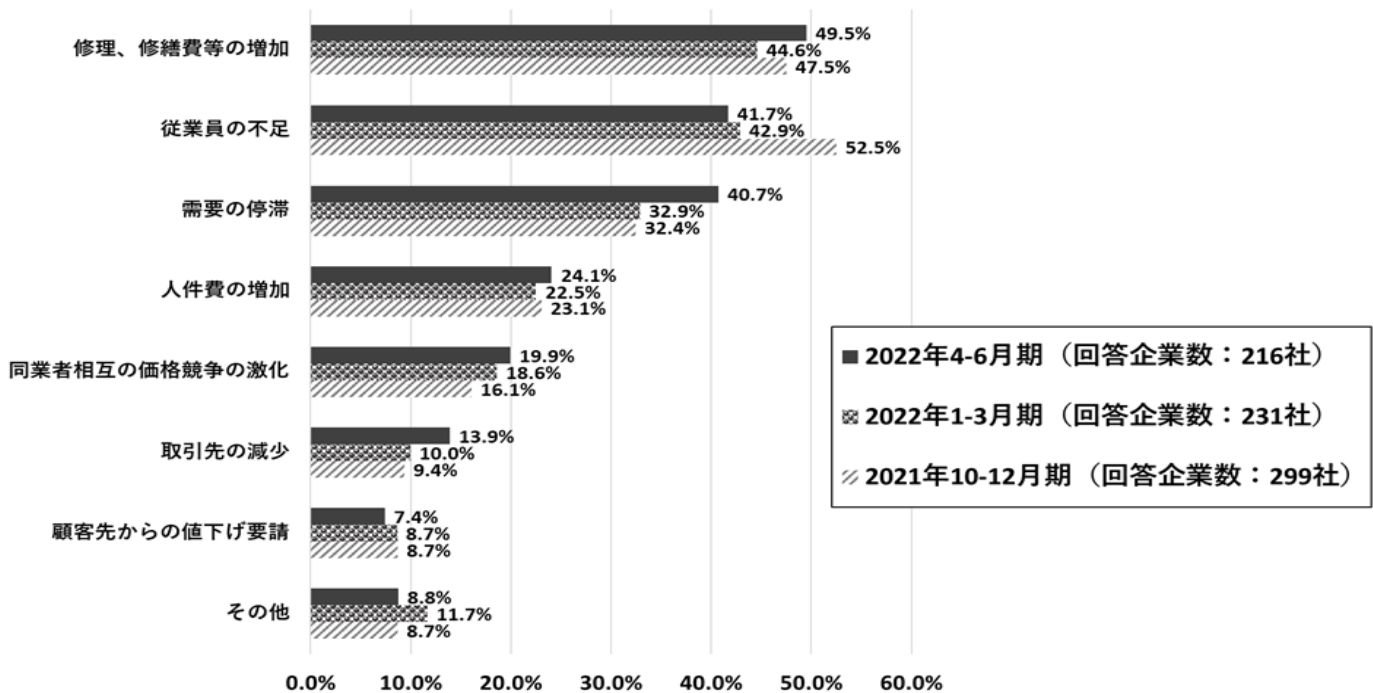
- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法: Web によるアンケート
- 調査期間: 令和 4 年 7 月 8 日～7 月 31 日
- 回答企業数: 261 社

景況判断DI(2009年1-6月期～2022年4-6月期と見通し)

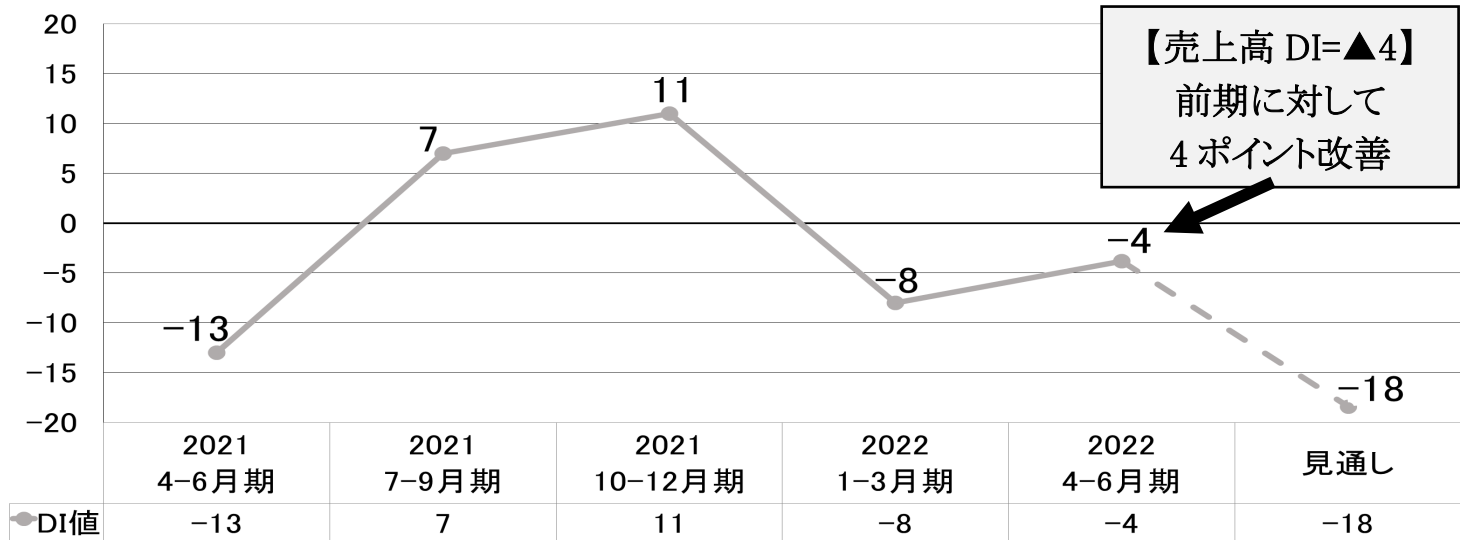


経営上の問題点(複数回答可)

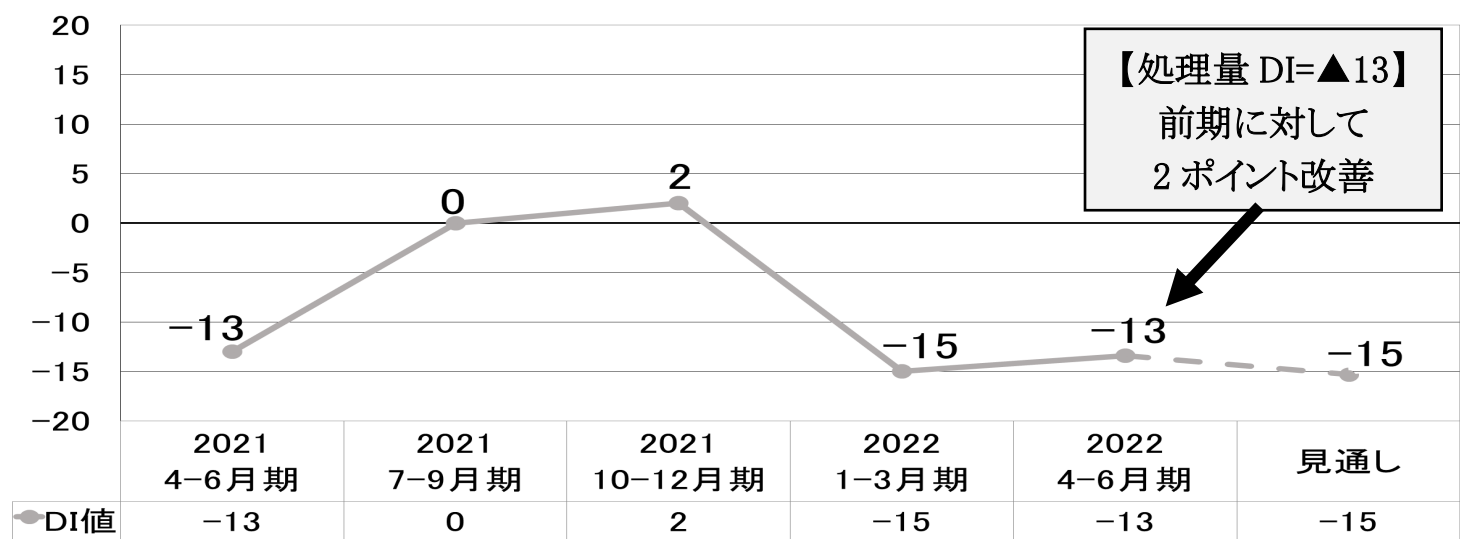
<2022年4-6月期（回答企業数：216社）>



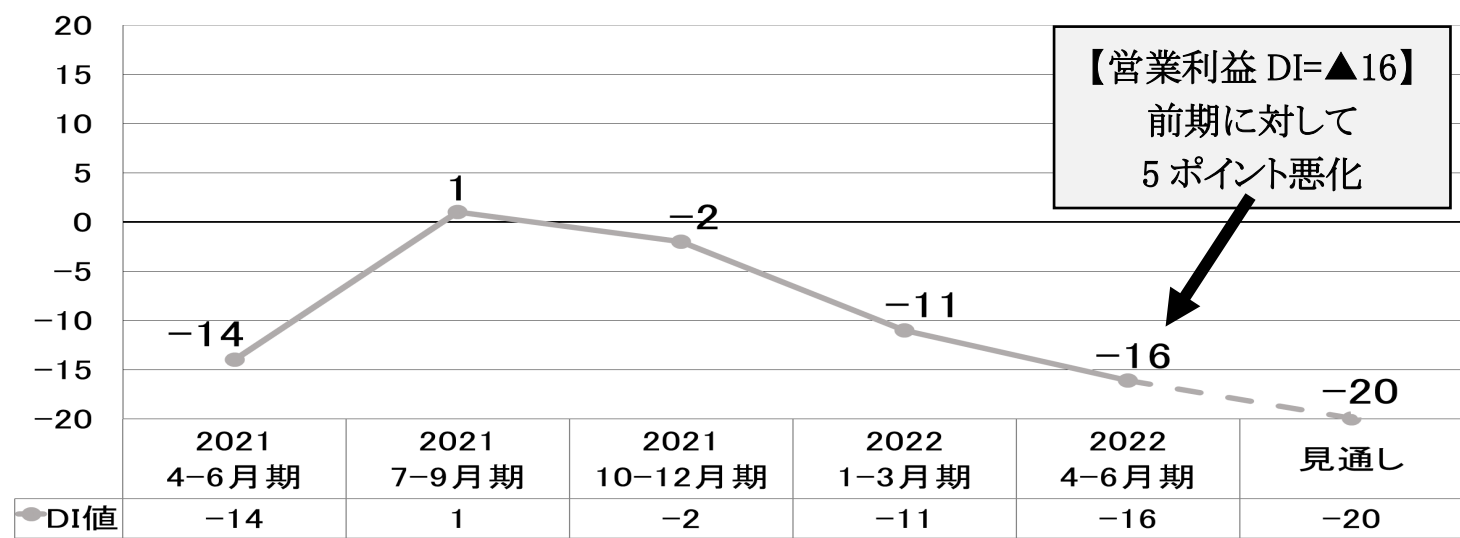
売上高DI
(2021年4-6月期～2022年4-6月期と見通し)



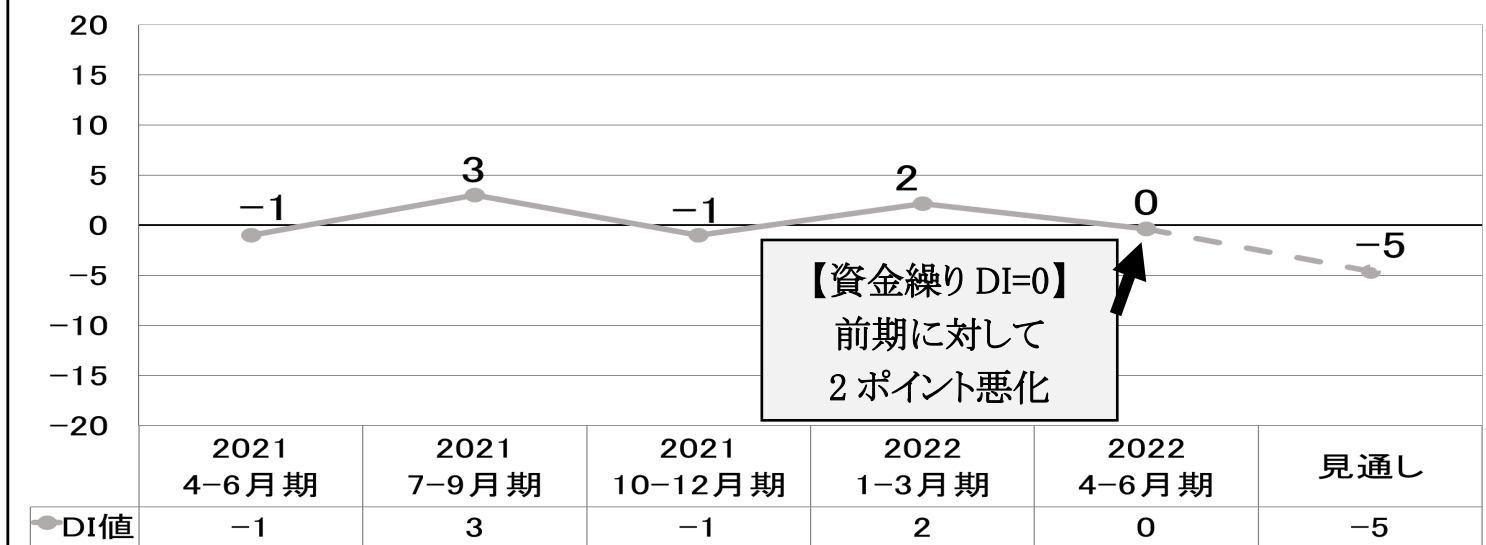
処理量DI
(2021年4-6月期～2022年4-6月期と見通し)



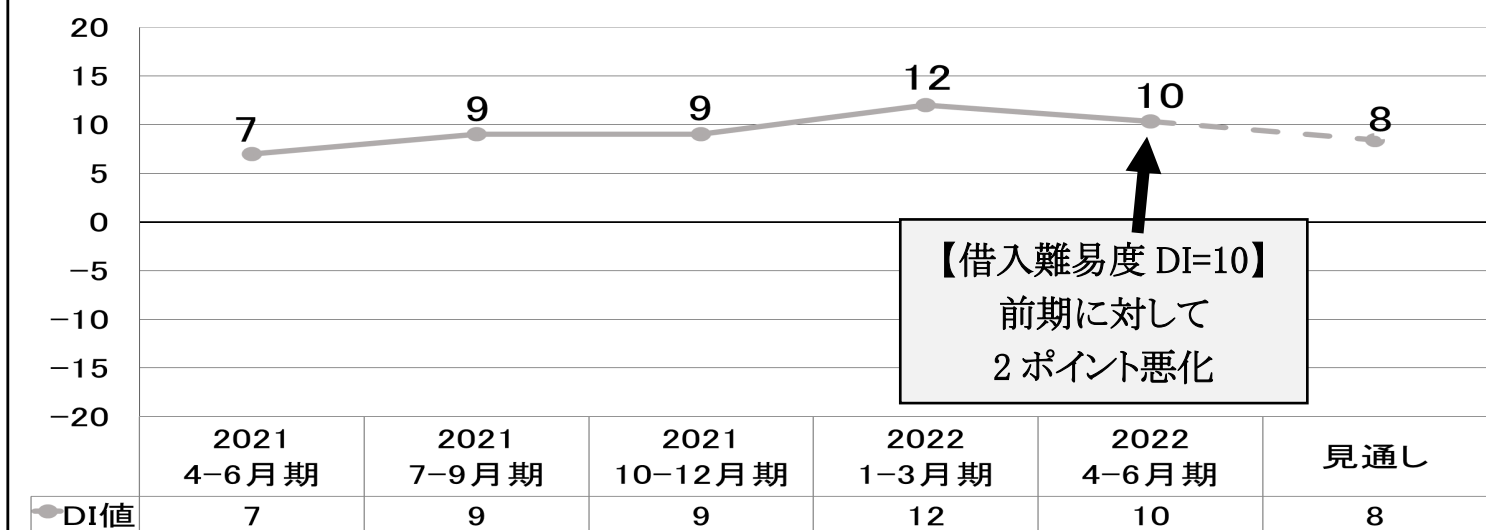
営業利益DI
(2021年4-6月期～2022年4-6月期と見通し)



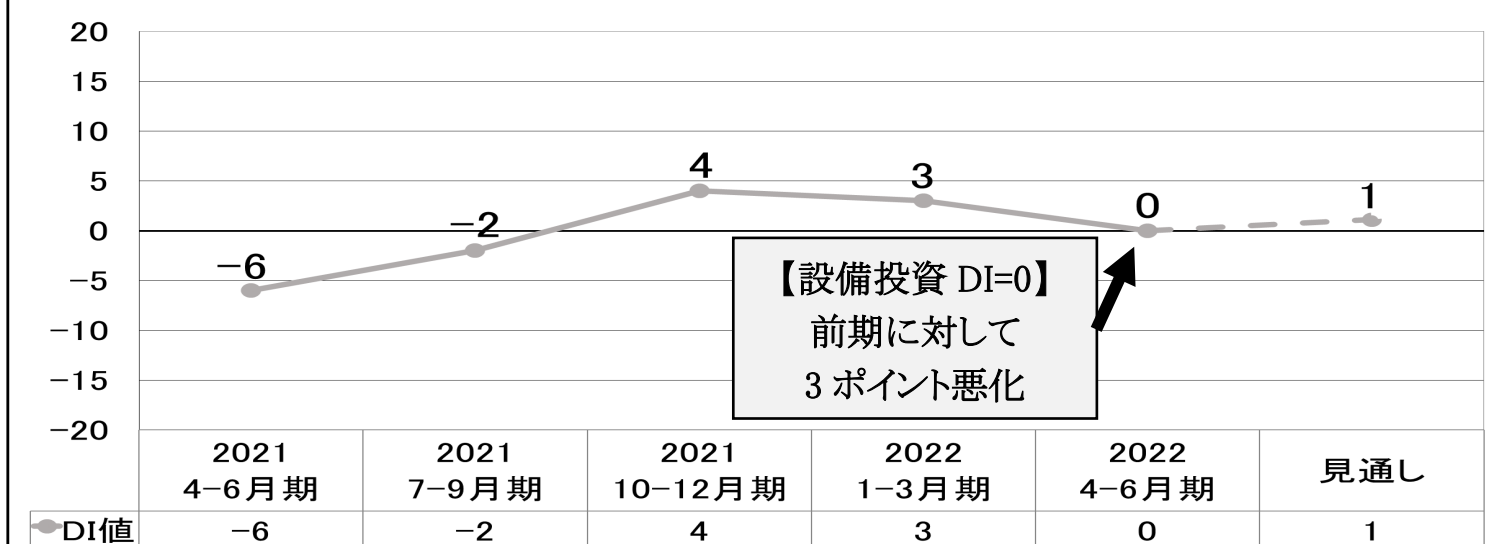
資金繰りDI (2021年4-6月期～2022年4-6月期と見通し)



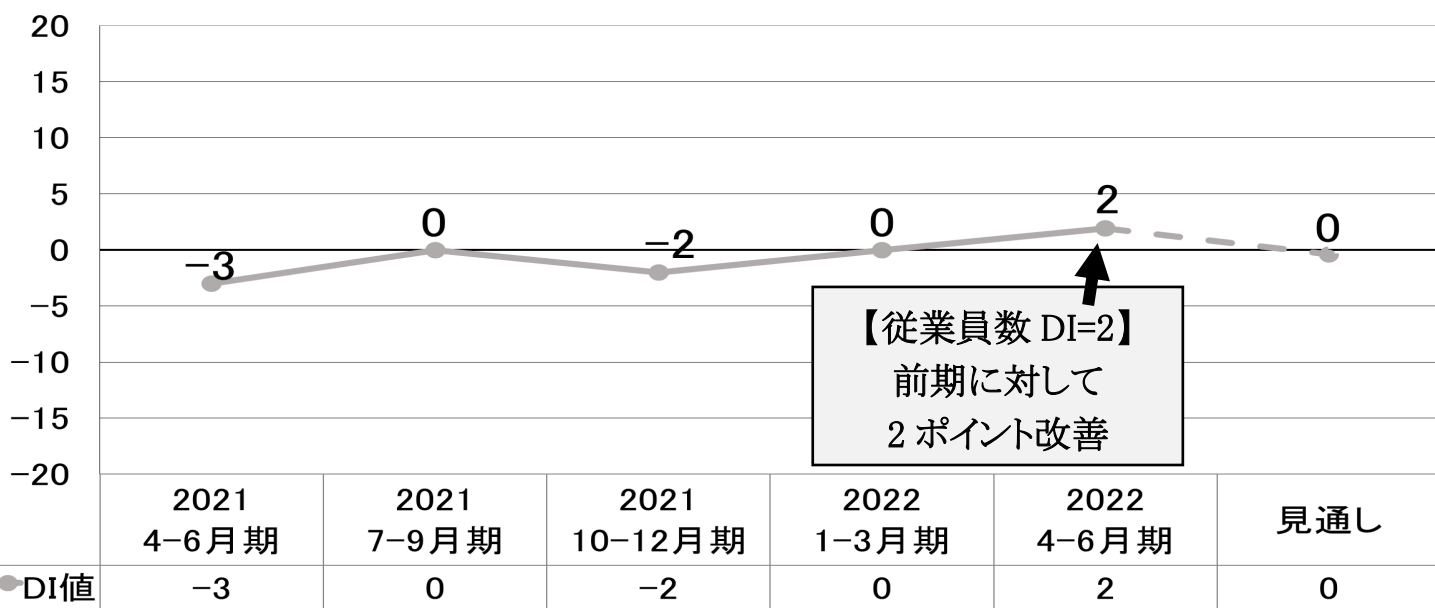
借入難易度DI (2021年4-6月期～2022年4-6月期と見通し)



設備投資DI (2021年4-6月期～2022年4-6月期と見通し)



従業員数DI (2021年4-6月期～2022年4-6月期と見通し)



【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

